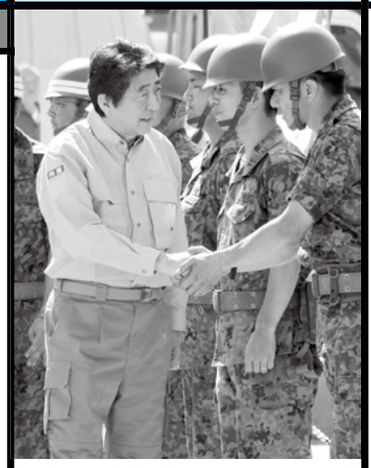
選択

2019.7月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 広告を裏読みする
42 新・不養生のすすめ―大西睦子
51 西風
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化



一糸乱れぬ組織が集票マシーンとしてフル稼働。現役隊員22万人に家族やOBはもちろん、出入り業者も加わり「自民党」の大票田を形成する。見返りに税金を費やした様々な恩恵が自衛隊を潤す仕組みだ。(110頁)

88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 美の艶話―齊藤貴子
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

経　済

60 シリコンバレー「新証券取引所」の衝撃―二十一世紀の資本主義の「実験場」
62 トヨタと「警察一家」の濃密な関係
■暴走プリウス「事故捜査」の暗部
64 JパワーI「分割・再編」の往生際―石炭火力「総スカン」で尽きた命運
67 連載〈クローズ・アップ〉
木村 康(日産自動車取締役会議長)―経産省に抜擢された「ズブの素人」
68 連載〈企業研究〉ゆうちょ銀行
■高齢顧客を「喰い物」にし始めた
72 トヨタ金融子会社で「旧東海」再粛清―これも首謀者は「怪僧」小林耕士
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉富山銀行―「中沖ジュニア」常務就任の真意
80 野村證券「永井引責辞任」で包囲網
■金融庁と官邸は「再編」も視野に
82 不祥事連発「第二二共」の断末魔―「根腐れ」合併企業の長くない余命
84 「監査法人」最近事情
■海外支配に甘んじる「斜陽産業」

長引く超低金利で収益環境は悪化。ガタ落ちした利益を補うため、高齢者をカモにする悪質な投資信託販売でぼろ儲け。不正に手を染める以外に稼ぐ手段は見つからず、今後も顧客度外視の悪事の温床と化す。(68頁)

政　治

同日選見送り後も、早期解散を欲する長老らが安倍をせかす。二階幹事長は「参院選から間を置かずに」と迫り、「年内」への流れを作るのに躍起だ。「改憲」を大義とした解散を巡り、与野党の大揺れが始まる。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 安倍の秘かなる「再々登板」戦略
■四選より「三度目」に虎視眈眈
48 衆院「十一月解散」の風雲
■「年末選挙」を巡る政局の行方
52 連載〈政界スキャン〉「ポスト安倍」菅義偉の野心と限界
54 自民党が画策する「野党再編」
■改憲と「反共」で大連立を模索
56 小池百合子と創価学会の異様な「蜜月」―都知事「再選」に向けて布石着々
58 連載〈罪深きはこの官僚〉市川博規(経産省製造産業局課長補佐)―陸上イージス「費用暴騰」の大失態

WORLD

●特別リポート

ロシアにすがる習近平

――「反米同盟」で抱き合う中露

12 米国防総省の危うい「民間委託」路線―戦争煽る「軍産複合体」の不気味
14 米露核軍縮条約が「全滅」する日
■新時代兵器「開発競争」が本格化
16 トランプ「環境規制緩和」政策が頓挫―裁判で政府敗訴「九割超」の滑稽
18 WORLD●情報カプセル
22 英国次期首相が招く「悲喜劇的混乱」―ボリス・ジョンソン「三枚舌」の代償
24 ドイツで「極右犯罪」が急増中
■「年間一万件」移民排撃の異常な日常
28 中東和平「トランプ案」の傍若無人―仲介役・米国がぶち壊す対話機運
30 米中が争う「海底ケーブル」覇権―情報通信の「生命線」巡る攻防
32 インドに忍び寄る「イスラム国」―過激思想が蔓延するテロの「新天地」
34 「香港動乱」習近平の悪夢
■「反中国デモ」は益々拡大する
36 中国「スタグフレーション」の苦悶
■報復関税合戦で敗色が濃厚に
38 連載〈現代史の言霊〉七月の爆発―仏「反ナチ活動家」爆殺未遂(一九七九年)

貿易戦争の傷が深まる中国経済に加え、香港での手痛い敗北。権威急降下の習近平の寄る辺は、「米国の脅威」を共有するロシアしかない。「同盟」へと近づく両国をいかに引き剥がすかが、米国の急務となった。(6頁)

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　読売新聞社　毎日新聞社　など

3 連載〈巻頭インタビュー〉山崎 拓―参院選勝利でも安倍自民は危うい